

指定廃棄物最終処分場問題について考える

東京電力福島第1原子力発電所事故で発生した放射性物質を含む指定廃棄物の最終処分場に関し、環境省は県内候補地として栗原市、大和町、加美町の3ヵ所を提示しました。同省は「特別措置法」の基本的なルールや県の地域特性を配慮した上で候補地を選定したとされていますが、この間、住民の理解が得られるような説明はされてきたでしょうか？候補地の自然やまちの暮らしは従来通り維持していただけるのでしょうか？

この問題に警鐘を鳴らし続けておられる加美町長の猪股洋文氏を講師として迎え、加美町の取り組みについてお話しいたします。指定廃棄物最終処分場の問題を県民としてどう捉えたらよいのか講師と共に考えたいと思います。是非ご参加ください。

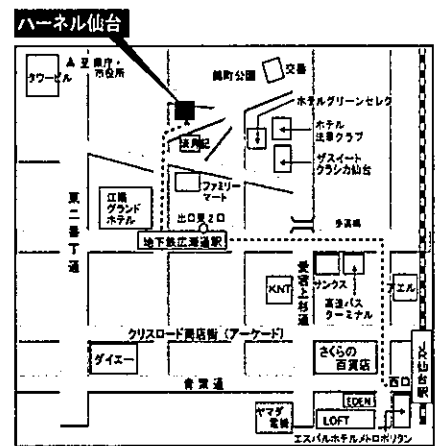
【日時】 **2月25日(水) 19:00~20:30**

【会場】 **ハーネル仙台・2階松島A**

(仙台市青葉区本町 2-12-7 Tel.022-222-1121)

【演題】 **「新たな被害者を出さないために」**

【講師】 **猪股 洋文 氏 (加美町長)**



*地下鉄広瀬通駅東2出口から

約徒歩3分

*仙台駅より徒歩約15分

【参加対象】 宮城県保険医協会会員およびテーマに関心のある方はどなたでもご参加いただけます。みなさんお誘い合わせの上、ご参加ください。

【参加費】 無料

【主催】 公害環境対策部

【申込・問合せ】

宮城県保険医協会 事務局

TEL : 022-265-1667

FAX : 022-265-0576

E-mail : miyagi-hok@doc-net.or.jp

HP : <http://miyagi-hok.org>

宮城県保険医協会 公害環境対策・会員学習会 (2/25・水) 参加申込書 (FAX.022-265-0576)

医療機関名 (勤務先)		お名前	
TEL		参加人数	人

※裏面の講師御略歴、コメントをご覧ください。

講師御略歴

米国ユタ大学、政治学部卒業。宮城県職員（宮城県ソウル事務所初代所長を務める）

平成23年8月に加美町長に就任。「共生」「協働」「自治」を基本理念として、人と自然に優しい町づくりに取り組んでいる。

講師より

加美町箕ノ輪山の田代岳国有地は、平成26年1月20日に開催された「第5回宮城県指定廃棄物処理促進市町村長会議」において栗原市の深山嶽国有地、大和町の下原国有地とともに宮城県における指定廃棄物の処分場候補地に選定されております。

特措法に基づき排出された県で放射性物質を処分すれば、新たな被害者を各県に作り出してしまいます。

加美町に作らなければよいという地域のエゴではなく、この問題の真の解決を図るため、本法の改正と基本方針の見直しについて国に対し強く求めてまいりました。

本県で医療に携わる皆様方の貴重な学習会において講演させていただけることを大変に光栄なものと感謝申し上げますとともに、この問題について皆様方のご意見もいただきましたなら幸いと考えております。

また、「善意と資源とお金が循環する、人と自然に優しいまち」の実現に向けて私が町で実施する「まちづくり」についての紹介もさせていただきたいと考えております。

どうぞよろしく申し上げます。